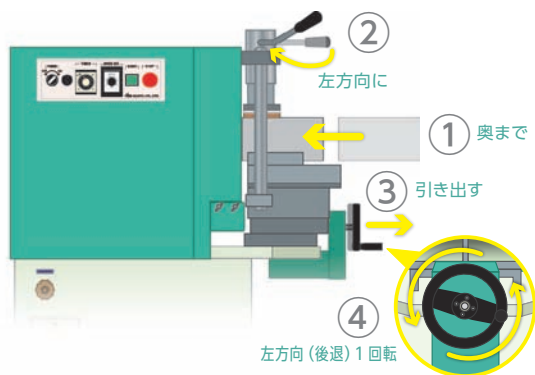


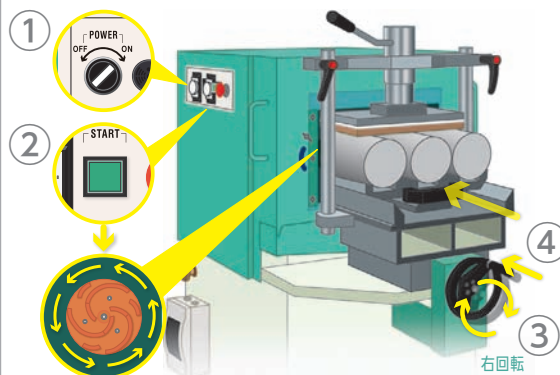
# トリプルハイケンマ クイックマニュアル【研磨：自動送り式】

## 1 スライドテーブルを調整する



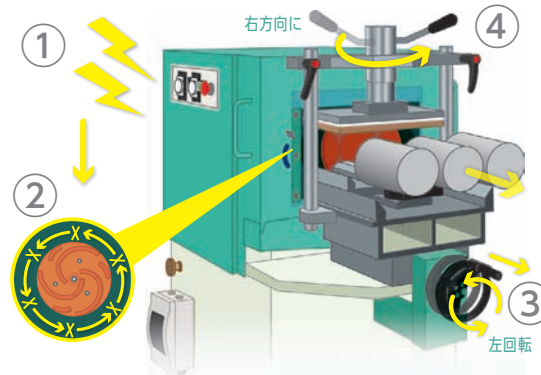
① 供試体を台座に乗せ、研磨盤に当たるまで押し込みます。② 押さえレバーを左に回し、供試体を固定します。③ 送りハンドルを手前に引出し（手動送りモード）、④ 左に1回転させます。

## 2 自動送りで研磨をスタートする



① パワースイッチを ON にします。② スタートスイッチを押し、研磨盤の回転・首振りを始めます。③ 送りハンドルを、ゆっくり供試体が研磨盤に当たるまで右に回します。④ 送りハンドルを押し込むと（自動送りモード）、供試体送りがスタートし、研磨が始まります。

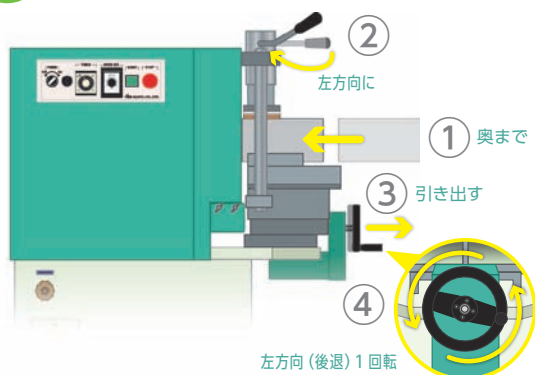
## 3 研磨終了後、供試体を取り出す



① タイマー設定時間経過後ブザーが鳴って送りが自動停止します。② 約 20 秒間の仕上げ研磨後、研磨盤の回転も止まります。③ 手動送りでテーブルを戻し、④ 供試体を取り出します。\*テーブルが奥まで進むとそれ以上送れなくなります。その際は送りハンドルでテーブルを戻して下さい。

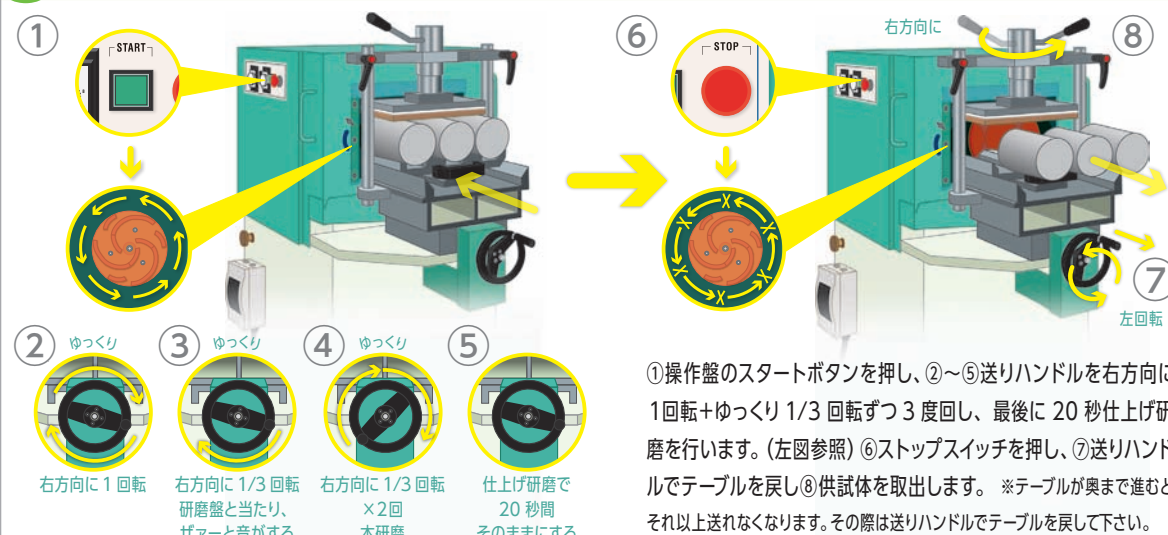
## 【研磨：手動送り式】

### 1 スライドテーブルを調整する



① 供試体を台座に乗せ、研磨盤に当たるまで押し込みます。② 押さえレバーを左に回し、供試体を固定します。③ 送りハンドルを手前に引出し（手動送りモード）、④ 左に1回転させます。

### 2 研磨盤を回転させ、手動でゆっくり供試体を送り、研磨する

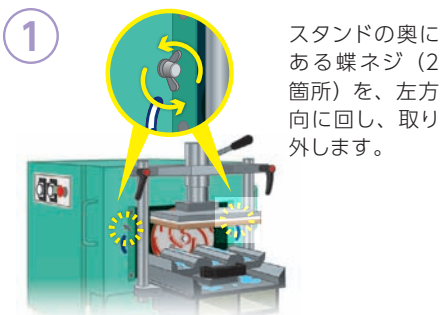


① 操作盤のスタートボタンを押し、②～⑤送りハンドルを右方向に1回転+ゆっくり1/3回転ずつ3度回し、最後に20秒仕上げ研磨を行います。（左図参照）⑥ストップスイッチを押し、⑦送りハンドルでテーブルを戻し⑧供試体を取り出します。\*テーブルが奥まで進むとそれ以上送れなくなります。その際は送りハンドルでテーブルを戻して下さい。

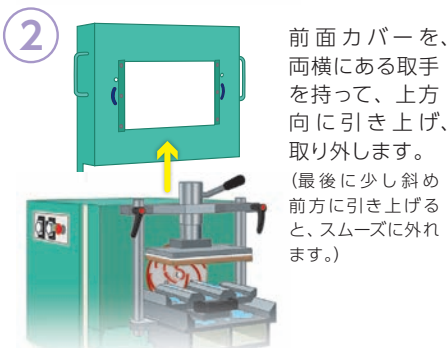
## 【使用後のお手入れ】

- お手入れは、毎日行って下さい。
- お手入れ前には、必ずブレーカー（装置側、設備側両方）を OFF にして下さい。

### 前面カバーの取り外し方

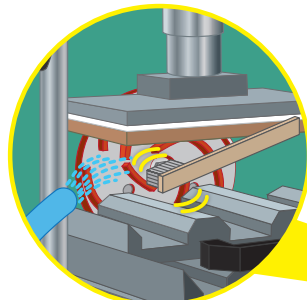


スタンドの奥にある蝶ネジ（2箇所）を、左方向に回し、取り外します。



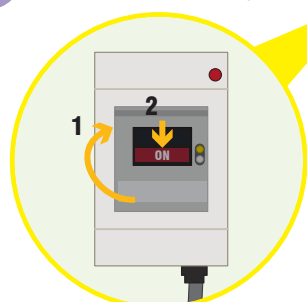
前面カバーを、両横にある取手を持って、上方方向に引き上げ、取り外します。（最後に少し斜め前方に引き上げると、スムーズに外れます。）

### 3 前面カバーを外し、研磨盤周辺と水受けに付着したノロを除去する



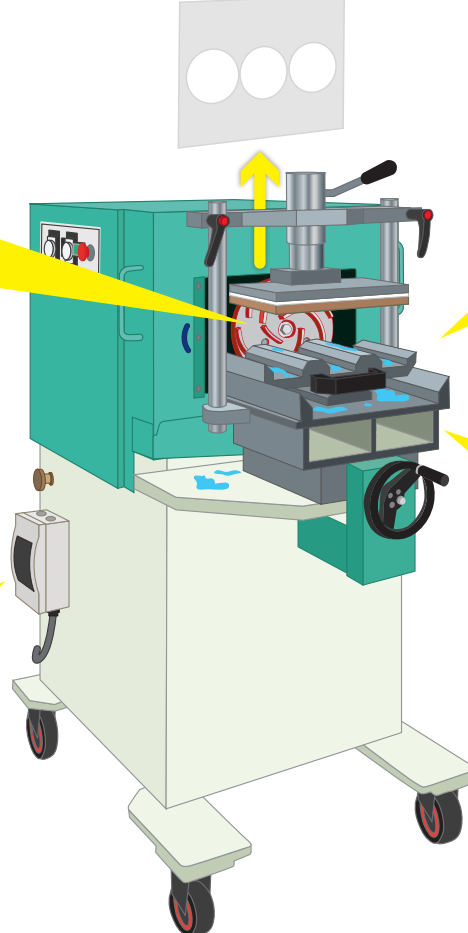
研磨盤の歯や散水金具にノロが詰まると、水が出なくなったり、研磨能力が低下したりします。ホースで必要最低限の注水しながら、ワイヤーブラシなどでノロを除去し、水受けに溜まったノロもふき取ります。

### 1 お手入れ前には必ずブレーカーを OFF にする

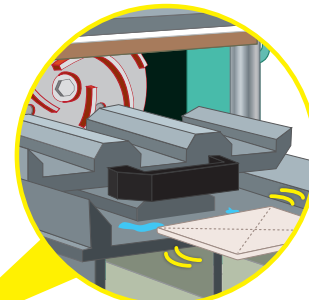


感電の原因となりますので、お手入れの際には必ずブレーカー（上図の装置側と設備側両方）を切って下さい。

### 2 飛散防止カバーを取り外し、洗う

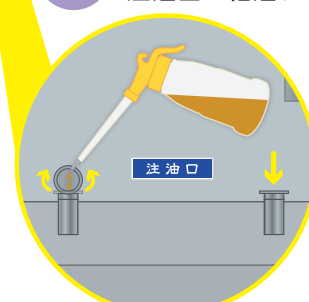


### 4 台座・スライドテーブルの水気とノロを拭き取る



台座やスライドテーブルに水気・ノロが残ったままだと、錆の原因になります。必ず拭き取ってください。

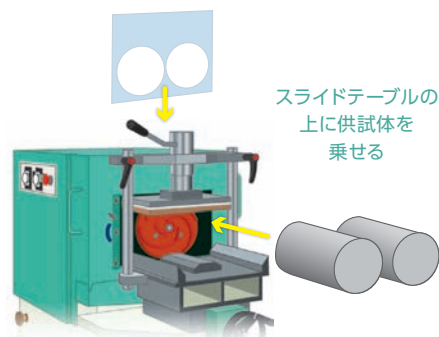
### 5 スライドテーブルの注油口に給油する



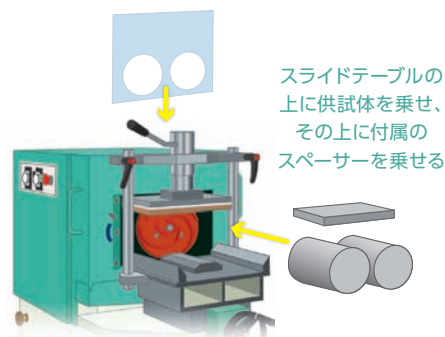
注油を怠ると手でスライドテーブルを動かす際、重くなったりします。粘度 46 番のマシンオイルを注油して下さい。

# 【適用供試体と治具組合せ】

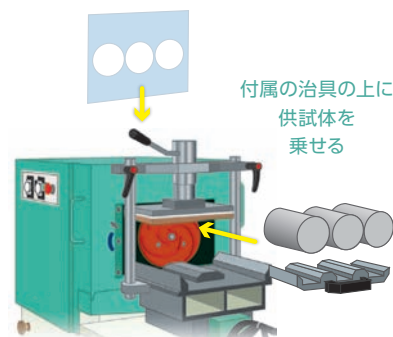
● φ150×300 mm ×2 本



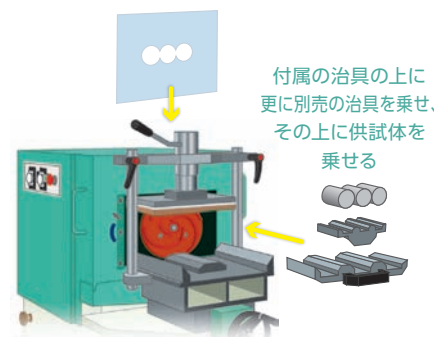
● φ125×250 mm ×2 本



● φ100×200 mm ×3 本

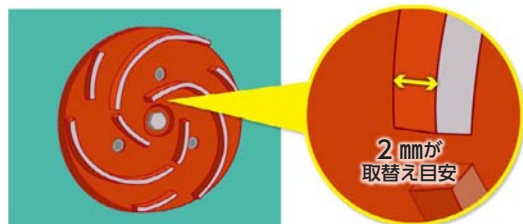


● φ50×100 mm ×3 本



## 【研磨盤交換の目安と方法】

### ● 研磨盤交換の目安



刃の高さが研磨盤の面から 2 mm になれば、交換時期です。下記手順に沿って、交換して下さい。(安全と性能維持のため、刃の高さ 2 mm 以下でのご使用はお控え下さい。)

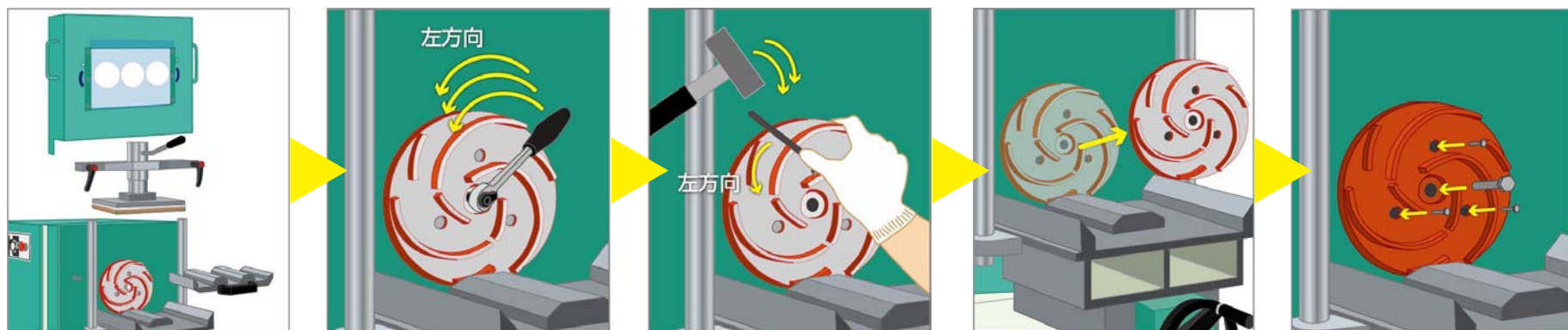
### ● 純正品研磨盤ご使用のお願い



研磨盤は、株式会社マルイの純正品をご使用下さい。純正品には「MARUI&CO.,LTD.」と刻印が打たれています。純正以外の研磨盤を使用されて発生した故障や平面度への影響は保証範囲外となります。

### ● 研磨盤交換の方法

※研磨盤の交換は、ケガをしないよう軍手などを着用して行ってください。



クランプユニットを外し (別紙「クイックマニュアル / セットアップ②」参照)、続いて、前面カバー (裏面「使用後のお手入れ」参照)、台座 (使用していれば) を取り外します。

中心の散水金具と 3ヶ所のキャップボルトに錆取りオイルをかけてしばらく置きます。ラチェットやボックスレンチを使い、散水金具を外します。

付属の六角レンチで 3ヶ所のキャップボルトを緩めます。(ボルト穴のノロを取除き、六角レンチをしっかりと差込んで根本を手で押さえ、ハンマー等でレンチを緩める方向に軽く衝撃を与えます。誤って手を打ち付けないように気をつけて作業して下さい。)

研磨盤を外します。(なかなか外れない場合は、研磨盤の裏側にノロが固着している可能性がありますので、取り除いてください。)

外す際と逆回転 (右回転) にボルトを回し、新しい研磨盤を取り付けます。(散水金具は、研磨盤に付属している新しいものと取り替えます。)

## 【よくあるご質問】

Q スタートボタンを押しても研磨盤が動かないのですが？

A 下記の 2 点を確認してください。

- ① ストップスイッチが押し込まれたままになっていませんか？押し込まれたボタンを元に戻して下さい。
- ② タイマーが「0 分」になっていませんか？タイマー設定を変更して下さい。

Q 供試体自動送り設定で、スライドテーブルが動かないのですが？

A 下記の 2 点を確認してください。

- ① パワースイッチ (本体スイッチ) が OFF になっていませんか？パワースイッチを ON にして下さい。
- ② テーブルが奥まで行っていませんか？テーブルが奥まで行ってしまうと安全リミットが働きそれ以上進まなくなります。手動送りモードでテーブルに戻して下さい。

Q 供試体が固定しきれず動いてしまい、研磨しづらいのですが…

A 押え板が供試体を押さえ切れていないことが原因です。

クランプユニットにある押さえ板の樹脂部分は使用していく内に变形することがございます。クランプを再調整していただくことで解決します。取扱説明書または別紙「セットアップ」を参照してクランプユニットの調整を行って下さい。

Q 研磨盤から水が出ません。

A 下記の 2 点を確認してください。

- ① 元水栓と、装置左側面の給水弁が開いているか確認して下さい。
- ② 散水金具にノロなどが詰まっていないか確認して下さい。詰まっていれば、ワイヤーブラシなどで除去して下さい。

Q 使用中、ガラガラと大きな音がしますが、調整可能でしょうか？

A 主軸ベアリングの破損が考えられます。

お客様での修理は困難ですので、販売店様、もしくは株式会社マルイへご連絡下さい。

(株) マルイ 0120-34-1021

Q 手動でテーブルを動かす際、以前より重くなったように感じます。

A スライドテーブルの注油不足が考えられます。

スライドテーブルに向かって右側面にある注油口にマシンオイル (粘度 46 番) を注油して下さい。